



『世紀の誤審～ガララーガ投手～』を振り返って・・・

(2組だけは、「ブラックパワー・サリュート」を振り返って... ごめんね。)

<みんなの感想より>

- 「信念」という言葉で表すと難しいけれど、単純に自分の信じるもの、自分が正しいと思う道を進むような生き方をすることがどれほど大切なことで、かつ難しいものか実感することができました。「信念」を貫く人はカッコいいと思いました。(2組女子)
 - 自分が正しいと信じたことは、最後まで信じて貫き通すことの深さが分かったし、たった1人のあの行動が人々の考えを変えたことに感動した。(2組男子)
-
- 完全試合達成の間近まで積み上げていた練習などを、審判の誤審によって達成できなかったのに、このように心を広く持てるのはすごいと思った。また、ガララーガ投手は今回の件の全体を見ていることに驚きました。(1組男子)
 - ガララーガ投手のとした行動はほんまにカッコいいと思った。自分やったら許せないと思う。ガララーガ投手は心が広いと思う。また審判も自分の過ちを認めて本人に謝罪しに行ったから反省していたんだと思う。謝る気持ちと許す心、どちらもほんまに大事やと思う。(1組女子)
 - 何かをやらかしてしまった方やしてしまった方は、間違っただけを認めて謝って、やられた方もいつまでも根に持たず完全に許せなくても相手の気持ちをしっかり考えなアカンと思う。(6組男子)
 - ブーイングされながらも試合会場に出て、涙を流しながらもしっかりと仕事をこなすジョイスさんをカッコいいと思ったし、怒らず謝罪を受け入れたガララーガ投手もさすがだと思った。ガララーガ選手の言葉で今頃この誤審は笑い話になっていると思った。誰も傷つかない素晴らしい行動だと思った。(6組女子)
 - 小さなことでも、大きなことでも、間違いがないなんてことはありえなくて、それが相手の損になっても、自分の損になっても、その間違いを受け入れて変わろうとすることが大切だと思った。(5組女子)
 - ガララーガ投手は最初、審判が誤審であったとき、本当はムカついていてと思った。自分なら許さないと思うが、ガララーガ投手は違った。ガララーガは人の失敗を受け入れてくれた。ガララーガが心の広い人であることがすごいと思った。(5組男子)
 - ガララーガ選手の行動は、審判を批判する人たちに許してもらえるようにしたんだと思ってすごいと思った。(4組女子)
 - いつまでもねたんだりするのは、スポーツマンシップに反していることであり、正直に謝り、それを受け入れることが最も大切なことだと思いました。僕もそうしたらよかったと思いました。最後の試合を大事にするべきでした。(4組男子)
 - 観客もガララーガ投手のチームもそうとう怒っていたと思うけど、ガララーガ投手が1人許しただけで観客にもその気持ちが伝わっていたと思いました。(3組女子)
 - 自分の非をすぐさま認めて謝ることの大切さと、それを許せることの素晴らしさを感じました。メジャーで活躍する程の人たちは、その技術のみでなく、精神も一流なのだと思います。(3組男子)

Nobody's Perfect!

人の過ちを許す広く優しい心の素晴らしさを感じました。自分の非を素直に認め謝罪することの大切さも感じました。また、許すことという行為は周りの人の気持ちをも変える力があることも学びました。素直に謝罪することも、それを許すことも時には勇気のいることですが、ちゃんとできると、もっとうまく人との関係が作れるんじゃないかな。

